

会議・イベントにおけるカーボン・オフセット検討会の設置について

1. 検討会設置の背景

我が国においては、市民、企業、NPO/NGO、自治体、政府等の社会の構成員が、地球温暖化対策を推進する国民運動の一環として、商品・サービス等の提供・購入等を通じてカーボン・オフセットの取組を広く展開している。中でも、様々な主体が参加し情報の普及・啓発効果の高い会議・イベントについては、廃棄物対策等の配慮に加え、活動の過程で排出される温室効果ガス排出量の削減努力を行い、それでも削減できない排出量についてカーボン・オフセットによる取組を行おうとする動きが広がっている。

環境省では、「我が国のカーボン・オフセットのあり方について（指針）」をはじめとして、「カーボン・オフセットの対象活動から生じる GHG 排出量の算定方法ガイドライン」、「カーボン・オフセットの取組に係る信頼性構築のための情報提供ガイドライン」、「カーボン・オフセットの取組に対する第三者認証機関による認証基準」の策定を進め、市場流通型の信頼性の高い取組を推進するとともに、「特定者間完結型カーボン・オフセットガイドライン」の策定や、カーボン・オフセットモデル事業等を通じて、社会一般に取組が広く普及することを支援してきた。

他方、商品やサービスを通じたカーボン・オフセットと異なり、時間的に一過性の性質を持ち準備・運営等の点で特殊性を有する会議・イベントについて、基準のあり方や普及の方法といった観点から、これまでの取組に加えて課題が多く挙げられている。また、イベントにおける環境配慮に関するガイドライン等も策定されているものの、必ずしも全てがカーボン・オフセットの仕組みを反映したものとはなっていないことから¹、政府・民間等の取組により会議・イベントでのオフセットを行う場合、参考となる資料の作成ニーズも高くなってきている。

2. 検討会設置の目的

国内外の会議・イベントにおけるカーボン・オフセットに関する現状を把握し、過去の事例からの教訓、現状における課題等を整理する。

抽出された課題に対して、市民、企業、NPO/NGO、自治体、政府等が会議・イベントを開催する際に、より広くカーボン・オフセットを実施出来るための対応策を検討する。会議・イベントにおける信頼性の高いカーボン・オフセットに資する基準・ガイドラ

¹一部民間企業等による自主的な取組は除く。

インの整理を行う。

その他の会議・イベントにおけるカーボン・オフセットの推進策を検討する。

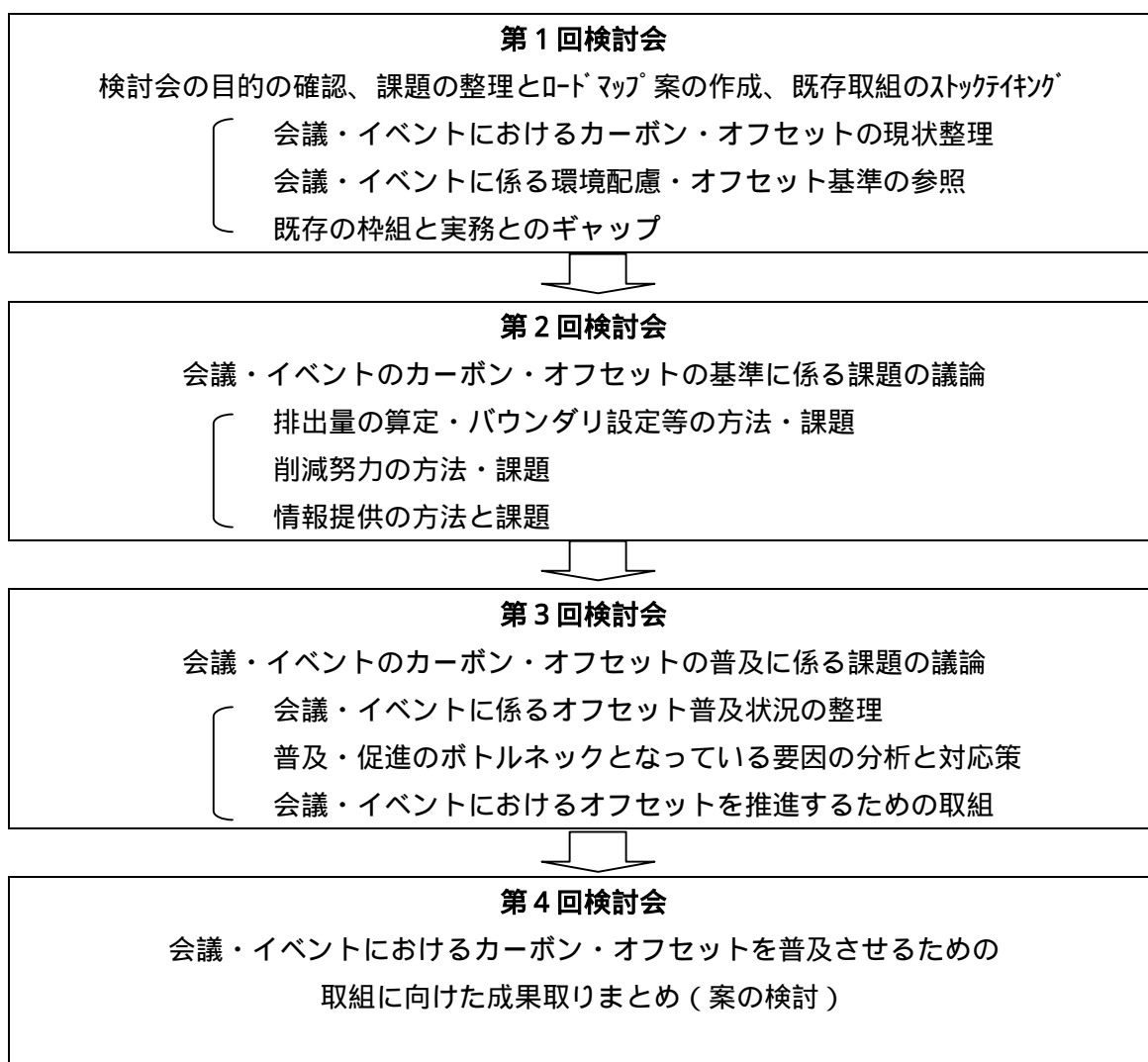
3. 主な検討事項

既存の関連基準・ガイドライン等（会議イベントの環境配慮に関するもの、カーボン・オフセットそのものに関するもの）の整理と、会議・イベントのカーボン・オフセットへの適用方法

カーボン・オフセットに係る削減努力やオフセット対象（バウンダリ）の設定、算定方法、情報提供などに関する代表的な取組の整理

会議・イベントにおけるカーボン・オフセットの効果的な普及策

4. 検討会スケジュール



5. 委員構成

(五十音順・敬称略)

氏名	現職名
奥 真美	首都大学東京 都市教養学部 都市政策コース 教授
麴谷 和也	グリーン購入ネットワーク 専務理事・事務局長
穴戸 旦	社団法人 日本広告審査機構 専務理事
篠崎 良夫	カーボン・オフセット推進ネットワーク カーボン・オフセット推進委員会 委員長
藺田 綾子	株式会社 クレアン 代表取締役
新美 育文(座長)	明治大学 法学部 教授
信時 正人	横浜市 地球温暖化対策事業本部 本部長